

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																			
読売理工医療福祉専門学校	昭和51年6月1日	水落清治	〒112-0002 東京都文京区小石川 1-1-1 (電話) 03-3686-0411																			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																			
学校法人読売理工学院	昭和45年1月31日	松井 敏宏	〒112-0002 東京都文京区小石川 1-1-1 (電話) 03-3686-0411																			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																		
医療	医療専門課程	臨床工学科	平成19年文部科学省 告示第21号																			
学科の目的	臨床工学技士養成校として厚生労働省が指定する科目に沿って、医療技術や必修科目を取得し国家試験合格を教育目標とすることに加え、医療従事者としてふさわしい人材を育成することを目的とする。																					
認定年月日	平成26年3月31日																					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験 実技																
3年	昼間	2630時間	2000時間	60時間	570時間	0時間 0時間																
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																	
120人	79人	0人	6人	25人	31人																	
学期制度	■前期: 4月1日~9月30日 ■後期: 10月1日~3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 試験、出席、実習レポート課題等の総合評価																		
長期休み	■学年始め: 4月1日~7日 ■夏季: 8月1日~8月31日 ■冬季: 12月25日~1月7日 ■学年末: 3月21日~31日		卒業・進級 条件	進級: 各学年の必修科目を全て取得 卒業: 必修科目107単位を全て取得																		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ■長期欠席者への指導等の対応 電話連絡、個人面談		課外活動	■課外活動の種類 サークル活動、ボランティア、学園祭実行委員 ■サークル活動: 有																		
就職等の 状況	■主な就職先、業界等(令和4年度卒業生) 病院、医療メーカー ■就職指導内容 個人面談、模擬面接 ■卒業生数 : 17 人 ■就職希望者数 : 16 人 ■就職者数 : 16 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 94.1 % ■その他 ・国家試験不合格者数: 1人 (令和 4 年度卒業者に関する令和5年5月1日時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等)	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和4年度卒業者に関する令和5年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨床工学技士 国家資格</td> <td>②</td> <td>17人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>ME1種検定</td> <td>③</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>ME2種検定</td> <td>③</td> <td>52人</td> <td>22人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	臨床工学技士 国家資格	②	17人	16人	ME1種検定	③	1人	1人	ME2種検定	③	52人	22人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																			
臨床工学技士 国家資格	②	17人	16人																			
ME1種検定	③	1人	1人																			
ME2種検定	③	52人	22人																			
中途退学 の現状	■中途退学者 9 名 令和4年4月1日時点において、在学者88名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和5年3月31日時点において、在学者79名(令和4年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更 出席不良 成績不良 経済困窮 体調不良 学習意欲 ■中退防止・中退者支援のための取組 各科目ごとの補習 クラス担任による指導 スクールカウンセラーによる学生カウンセリング 奨学金活用・授業料の延納分納対応		■中退率 10 %																			

<p>経済的支援制度</p>	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度： 有</p> <p>①学費支援制度(新入生対象) 経済的な事情で進学を諦めなければならない状況にある、勉学意欲があり本校への入学を強く希望している方で、世帯年収の目安が500万円以下の方を対象に選考し入学時納付金の一部を免除する制度。</p> <p>②小林與三次記念育英奨学金制度 経済的な事情で修学を諦めなければならない状況にある、勉学意欲があり学業の優秀な本校の在校生を対象とした奨学金制度</p> <p>③留学生対象推薦入学学費減免制度 私費留学生在が出願時に日本語学校の推薦を受けている場合に入学時納付金の一部を減免する制度</p> <p>④留学生特別奨学金制度 出席状況が優良な私費留学生に対して奨学金を支給する制度</p> <p>■専門実践教育訓練給付： 非給付対象</p>
<p>第三者による学校評価</p>	<p>■民間の評価機関等から第三者評価： 無</p> <p>※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)</p>
<p>当該学科のホームページURL</p>	<p>http://www.yomiuririkou.ac.jp/course/clinical/</p>

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

臨床工学科は臨床工学技士の養成課程であり、病院での臨床実習が180時間、厚労省より義務付けられている。実習病院としては、大学病院、総合病院などであり、最先端の医療現場での実習を行っている。
また、学内の生体機能代行装置、医療機器に関しての講義、実習に関しても病院の技士長クラスの臨床工学技士を非常勤講師として招聘し、常に最先端の技術を教育に反映させている。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

校長の下に教育課程編成委員会を置き、校長を委員長として業界団体や有識者、企業関係者の外部委員と当該学科の学科長ならびに事務局長を委員として選出し、年に2回以上開催し、学科の教科構成や実習・演習の内容はもちろん教員研修等について、外部委員の意見をもとに当該学科の実践的な職業教育の実施に向け、必要なカリキュラムの改善案を教務で検討し校長に報告、カリキュラムに反映させる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
中尾 教伸	日本医療科学大学 保健医療学部 臨床工学科 教授	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日(1年)	②
伊藤 大輔	伊奈病院 医療技術部 臨床工学科 係長	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日(1年)	③
神原 晃	苑田第一病院 臨床工学科 主任	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日(1年)	③
水落 清治	読売理工医療福祉専門学校 校長	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日(1年)	
沢田 雄太	読売理工医療福祉専門学校 臨床工学系学科 学科長	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合には、種別の欄は空欄で構いません。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(7月、11月)

(開催日時(実績))

令和4年度 第2回 令和4年11月11日 19:00～20:00

令和5年度 第1回 令和4年7月11日 19:00～20:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

新カリキュラム改変について

・【内視鏡用ビデオカメラ保持に係るシミュレータ】は告示研修に使用されるものを購入した方が良いか?購入時期は?

⇒基本的には、告示研修で使用されるものを購入した方が良いのではないかと。

【内視鏡用ビデオカメラ保持に係るシミュレータ】というものがそもそも存在していない?

購入時期は2024年度に間に合えば良いのではないかと。(2023年の購入でOK?)

・臨床実習の単位数の変更と学内実習についてはどのような対応を考えておけば良いか?

⇒臨床実習の内、病院に依頼をする時間数は現行の180時間と変更の無いように1単位当たり30時間でカリキュラムを作成すれば良いのではないかと。

臨床実習発表は個人単位/病院単位で実施させても良いのではないかと。(現状は数病院をピックアップして発表)

・新カリキュラム切り替え時の留年生についての懸念事項

1年次留年:新カリキュラム変更のタイミングでの留年の場合は【再入学】という手段をとれないか。

2,3年次留年:科目が無くなる場合には、振替科目を決めておくこと。その場合は、単位数が一致するように注意する。

・新科目について

【臨床支援技術学】:授業時間内に実習を組み込んでも良いのではないかと。

【チーム医療概論】:ある症例に対するディスカッションの実施などを検討しても良いのではないかと。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等の人材ニーズを活かしつつ、医療業界の現場で必要となる実践的かつ専門的な能力を育成するため、実習・演習等の授業において、企業等との組織的な連携を通じ、最新の技術動向が反映された技術・技能を教育する。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

実習・演習等において、授業内容や方法、成績評価について、企業等と連携する。臨床実習については実習ガイドブックを作成し、その内容に基づいた実習内容、実習評価について、綿密な打ち合わせを行う。

また、機器実習として、医療機器メーカーの講義・実習を行い、最新医療機器に実際触れながら学べるよう連携する。

「連携企業等」

1. 東京都済生会中央病院
2. 日本医科大学附属病院
3. 池上総合病院
4. 東京女子医科大学病院
5. 板橋中央総合病院

(3) 具体的な連携の例 ※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
臨床実習	臨床工学技士の行う主な業務について見学を中心にして、実際的な知識を身につける。	東京都済生会中央病院 日本医科大学附属病院 他
生体機能代行技術学実習	呼吸・循環・代謝に関係ある生体機能代行装置の適切な操作と保守点検ができるように生体機能代行装置の基本知識と技術について実習をする。	日産厚生会玉川病院 東大和病院 葛西昌医会病院
医用治療機器学実習	医用機器の適切な操作と保守ができるよう、医用治療機器の基本事項を実習を通じて理解する。	日本光電工業株式会社 日本メトロニック株式会社
生体計測装置学実習	生体計測装置の適切な操作と保守ができるよう、その基本事項について実習をする。	日本光電工業株式会社 日本メトロニック株式会社
医用機器安全管理学実習	医用機器の臨床応用を高い安全性及び信頼性をえて行えるよう、安全管理に関する基礎事項について実習をする。	日本光電工業株式会社 日本メトロニック株式会社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

教員として所属学科の実践的な職業教育を行うために、知識と技術に関する情報は、教職員自らが自己研鑽に務めることが重要であり、自らが研修・研究等の実施を希望する場合においても、校長判断によりこれを認めているが、学校としては教員研修に関する規定を定め、連携を取る業界・企業・団体と連携ならびに教育課程編成委員会の意見を参考に校内外での研修を進めている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

・第32回 日本臨床工学会

日 時： 令和4年5月14日、15日

場 所： つくば国際会議場

主 催： 日本臨床工学技士会

参加者： 専任教員2名

内 容： 『時代に輝く臨床工学技士をめざして～Looking at the world: 世界を見据えて～』

教科との関連： 臨床工学分野全般の教科にて学会の内容をフィードバックできる。

・日本臨床工学技士教育施設協議会 令和4年度定時社員総会 第37回教員研修会

日 時： 令和4年6月11日、12日

場 所： ホテルグランピア和歌山

主 催： 日本臨床工学技士教育施設協議会

参加者： 専任教員1名

内 容： 『臨床工学技士養成施設における新カリキュラムの概要』

教科との関連： 臨床工学分野全般の教科にて学会の内容をフィードバックできる。

・第67回 日本透析医学会学術集会・総会

日 時: 令和4年7月1日～3日

場 所: パシフィコ横浜

主 催: 日本透析医学会

参加者: 専任教員4名

内 容: 『透析医療のSDGsを求めて』

教科との関連: 血液浄化分野を中心に臨床工学分野全般の教科にて学会の内容をフィードバックできる。

・第8回臨床工学技士養成教員学術研究会

日 時: 令和4年9月25日

場 所: TKPガーデンシティPREMIUM 大阪駅前(オンライン)

主 催: 日本臨床工学技士教育施設協議会

参加者: 専任教員2名

内 容: 「臨床工学技士教育を考える」～臨床工学技士法および指定規則改正とその対応～

教科との関連: 臨床工学分野全般の教科にて学会の内容をフィードバックできる。

②指導力の修得・向上のための研修等

日 時: 令和4年8月30日

タイトル: アクティブラーニング研修

場 所: 東京都私学財団

研修内容: アクティブラーニング研修

教科との関連: 分野全般での指導方法に活用

日 時: 令和4年9月28日

タイトル: 医療介護業界で働く学生のためのメンタルヘルス指導法

場 所: オンライン(FCAエデュケーション)

研修内容: メンタルヘルス指導法

教科との関連: 分野全般での指導方法に活用

研修名「LGBTQについて」(連携企業等: スクールカウンセラー 半田 茂 先)

期間: 令和5年3月10日(金)

内容: LGBTQはいないのではなく周囲に言えない、「Q」とは何か、性的マイノリティとLGBTQの違い、性同一性障害とトランスジェンダーの違い、といった基本的な理解を統計等の資料を基に促し、どのような言葉や態度が相手を傷つけてしまうのか、多様性を尊重した世の中とはどのような社会なのか等の話があった。

日 時: 令和5年3月24日

タイトル: 令和4年度学生カウンセリング研修会

場 所: オンライン(東京都専修学校各種学校協会)

研修内容: 『教職員の面談力 -Z世代の学生と関係する力 Part2-』

教科との関連: 分野全般での指導方法に活用

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

・日本医工学治療学会 第39回学術大会

日 時: 令和5年5月12日～14日

場 所: 川越プリンスホテル

主 催: 日本医工学治療学会

参加者: 専任教員1名

内 容: リフレーミング～多角的な視点から医工学治療を考える～

教科との関連: 臨床工学分野全般の教科にて学会の内容をフィードバックできる。

・日本臨床工学技士教育施設協議会 令和5年度定時社員総会 第38回教員研修会

日 時: 令和5年6月3日、4日

場 所: 札幌パークホテル

主 催: 日本臨床工学技士教育施設協議会

参加者: 専任教員1名

内 容: 「ICTツールの活用～オンライン授業の先へ～」ほか

教科との関連: 臨床工学分野全般の教科にて学会の内容をフィードバックできる。

・第30回 東京都臨床工学技士会
 日時: 令和5年6月25日
 場所: 大田区産業プラザPio
 主催: 東京都臨床工学技士会
 参加者: 専任教員2名
 内容: 30th Anniversary いのちのエンジニア TOKYO ~臨床工学技士への誇り~
 教科との関連: 臨床工学分野全般の教科にて学会の内容をフィードバックできる。

・第33回 日本臨床工学会
 日時: 令和5年7月21日~23日
 場所: 広島国際会議場
 主催: 日本臨床工学技士会
 参加者: 専任教員1名
 内容: Peace for Innovation ~peace:無事 安心への新たな展望~
 教科との関連: 臨床工学分野全般の教科にて学会の内容をフィードバックできる。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「:臨床心理士による学生カウンセリングに関する研修」(連携企業等:スクールカウンセラー 半田 茂 先生)
 期間:令和6年3月中旬
 内容:未定

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

自己評価の客観性・透明性を高めるとともに、臨床工学系学科の関連業界、卒業生、保護者など学校と密接に関係する者の理解促進と継続した連携協力体制の確保により、学校運営・教育内容の改善を図るため「学校関係者評価委員会」を設置し、当委員会の意見を学校運営等の改善に活用するとともに結果を公表する。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	理念、目的、育成人材像、特色
(2)学校運営	運営方針、事業計画、運営組織、意思決定機能
(3)教育活動	教育目標、教育課程、成績評価基準、資格取得の指導体制、授業評価
(4)学修成果	就職率、資格取得、退学率、卒業生の社会的評価
(5)学生支援	就職指導、学生相談、健康管理、課外授業、保護者との連携
(6)教育環境	施設・設備の整備、インターンシップ、海外研修、防災体制
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動、入学選考、学納金
(8)財務	財務基盤、予算・収支計画、監査、財務情報の公開
(9)法令等の遵守	法令・設置基準の遵守、個人情報保護、学校評価、情報公開
(10)社会貢献・地域貢献	教育資源・施設の活用、学生ボランティア活動、公開講座・教育訓練の実施
(11)国際交流	海外研修、留学生の受入れ・在籍管理・就職指導

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会の意見をもとに、目標とすべきテーマを掲げ、校長や各学科で目標に向けて取り組み、達成状況に対する意見を委員会でいただき、改善すべきところを改善している。例えば新型コロナウイルス感染症対策をについてや、除籍退者を減らすことなど目標としている。他に卒業生との連絡状況や、地域住民と学校行事との連携強化など、今後の課題も見えてきている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
渡部 俊一	読売理工専校友会 会長	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日(1年)	卒業生委員
本田 章良	臨床工学科在学生 保護者	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日(1年)	保護者委員
杉田 明治	文京区礪川地区町会連合会 会長	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日(1年)	地域委員
羽場 宏祐	(株)インターナショナルクリエイティブ 最高顧問	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日(1年)	企業委員
鹿毛 信一	河端建設(株) 工事部部长	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日(1年)	企業委員
小嶋 守	小嶋電工株式会社 専務取締役	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日(1年)	企業委員
伊藤 大輔	医療法人社団 愛友会 伊奈病院 医療技術 部 臨床工学科 係長	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日(1年)	企業委員
大庭 尚子	港区東部在宅医療相談窓口	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日(1年)	企業委員
中村 孝之	公益財団法人 日本建築衛生管理教育セン ター 業務部教務課 技術主幹	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日(1年)	企業委員
水落 清治	読売理工医療福祉専門学校 校長	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日(1年)	学校委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(○ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()) 公表時期 9月上旬 1月下旬

<http://www.yomiuririkou.ac.jp/about/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の関係者が本校の全般について理解を深めるとともに、連携および協力の推進に資するため、本校の基本的情報を含めた必要な情報を分かり易い形で、ホームページを通じて恒常的に提供する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の育成人材像、特色、沿革
(2) 各学科等の教育	定員、入学者数、在籍者数、教育課程、進級、卒業要件、目標資格
(3) 教職員	教員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、就職支援、インターンシップ
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事、クラブ活動
(6) 学生の生活支援	学生相談室、留学生相談室
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金、奨学金制度
(8) 学校の財務	賃借対照表、収支計算書
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	海外研修派遣制度
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL:<http://www.yomiuririkou.ac.jp>

授業科目等の概要

(医療専門課程 臨床工学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○			心理学	医療従事者として必要な心理学の基礎知識および人間の行動などについて学習する。 1. 心理の発達 2. 幼児期の心理 3. 老人の心理 4. その他	1 前	30	1	○			○			○	
2	○			倫理学	人間の道徳の規範となる原理、道徳の起源、発達、本質、規範、医療従事者の生命倫理モラル、家庭生活のモラル等について学習する。	1 後	30	1	○			○			○	
3	○			社会学	社会に意義、家族と文化、家族集団、家族の歴史、地域社会の構造、社会の構造、社会の発展、将来の展望等について教授し、社会福祉についての見解を高める。	1 後	30	1	○			○			○	
4	○			基礎数学	臨床工学技士としての専門科目を修得するのに必要な数学の考え方と、基礎知識が身に付くための授業を行う。	1 前	20	1	○	△		○			○	
5	○			基礎物理学	臨床工学技士として専門科目を修得するために必要な物理現象について学習する。 1. 力学 2. 光学 3. 熱学 4. 流体 5. 波動 6. その他	1 前	30	1	○	△		○			○	
6	○			化学	生化学、基礎医学、臨床医学を学ぶために必要な化学の基礎を学ぶ。元素、化学結合、無機化合物、アルコールとエーテル、アルデヒド、ケトン、その他。	1 前	30	1	○			○			○	
7	○			生物学	細胞の構造など生物の基本的な内容をはじめとし、恒常性の維持や人体への生物学的なアプローチに関して学ぶ。	1 前	30	1	○			○			○	
8	○			物理学・化学 実習	基本的な物理現象を実際に観察、測定し物理学の理解を深める。また、生体内の化学物質に関する実習を行うことにより、生体に対する関心を深める。	1 後	45	1			○	○			○	
9	○			英語Ⅰ	臨床工学技士として必要な日常英語、医学関連の会話英語を学ぶ。	1 前	60	2	○			○			○	
10	○			英語Ⅱ	臨床工学技士として必要な日常英語、医学関連の会話英語を学ぶ。	1 後	60	2	○			○			○	
11	○			医学英語	医学論文や医療機器の説明書などに使用されている医学英語などを基本とした医学関連の外国語を学ぶ。	2 前	30	1	○			○			○	
12	○			保健体育	健康な体をつくることに必要な保健衛生、食育などを授業を通して学ぶ。	1 前	15	1	○			○			○	

13	○		体育実技	ダンスや球技などを行い、体力維持できる健康な体づくりを行う。	1前	45	1			○		○		○	
14	○		解剖生理学	酸塩基平衡や呼吸機能、心電図など生理学を理解し、疾病や生理機能の関連および検査方法について学習する。	1通	80	4	○			○		○		
15	○		病理学概論	病理学の概要、代謝障害、循環障害、炎症、新生物などの病理学像および細胞検査や血液学的検査などを学ぶ。	2前	30	1	○			○		○		
16	○		基礎医学実習	人の構造および機能、病理学で学ぶ細胞などについて実習を行うことにより構造的、機能的、形態的に理解を深める。	2前	30	1	○			○			○	
17	○		公衆衛生学	健康の保持、予防医学の重要性を認識させ、公衆衛生の分野について学ぶ。疾病、人工動態、生活環境、公害、食品衛生、社会福祉と社会保障など。	1後	30	1	○			○		○		
18	○		医学概論	医学の歴史の変遷、医療機器の歴史の変遷、将来の展望および、医療従事者の倫理などについて学習する。	1前	15	1	○			○		○		
19	○		臨床生理学	個体および細胞の化学的厚生成分およびそれらの構成成分が示す化学反応と代謝機序、また生化学の疾病との関連について学習する。	2前	30	1	○			○			○	
20	○		臨床生化学	個体および細胞の化学的厚生成分およびそれらの構成成分が示す化学反応と代謝機序、また生化学の疾病との関連について学習する。	2後	40	2	○			○		○		
21	○		臨床免疫学	人体の免疫血清学および各種免疫の概要、輸血検査などについて学習する。	3後	30	1	○			○		○		
22	○		臨床薬理学	臨床で使用される薬剤の作用機序、適応などを中心に学習する。 1. 呼吸器系薬剤 2. 循環器系薬剤 3. 利尿剤 4. 脳神経系薬剤 5. 抗生剤	3前	30	1	○			○			○	
23	○		チーム医療概論	チーム医療における臨床工学技士の役割や、他の職種を養う。患者に最適な医療を提供するための様々な考え方を習得し、それを自分の意見として表現できるようになり、医療現場で実践できる基礎を習得する。	3前	30	2	○			○		○	○	
24	○		応用数学	臨床工学に必要な数学の基礎について学ぶ。代数学、微分積分学、微分方程式、フーリエ級数とフーリエ変換、確率統計学、その他。	1通	60	3	○			○			○	
25	○		電気工学Ⅰ	電気の基本的な性質、直流・交流の電気回路の動作を把握し最終的には、ME 2種、国家試験のレベルをカバーすることを目標とする。	1前	60	3	○	△		○			○	
26	○		電気工学Ⅱ	電気の基本的な性質、過渡現象、電磁気学について教授し最終的には、ME 2種、国家試験のレベルをカバーすることを目標とする。	1後	40	2	○	△		○			○	

27	○		電気工学実習	臨床工学に必要な電気工学についてその理解を深めるために実習を行う。	1後	30	1			○	○		○			
28	○		電子工学	臨床工学に必要な電子工学の基礎について学習する。1. 臨床工学と電子工学 2. 電子回路と通信	2通	80	4	○	△		○		○			
29	○		電子工学実習	臨床工学に必要な電子工学の基礎についてその理解を深める為に実習を行う。1. 電子回路と通信 2. 増幅 3. アナログ回路 4. デジタル回路と電子計算機 5. 通信	2後	30	1			○	○		○			
30	○		機械工学	臨床工学に必要な機械工学の基礎について学習する。1. 機械力学 2. 生体の運動 3. 流体の法則 4. 振動と超音波 5. 熱力学と機械	3前	40	2	○			○				○	
31	○		システム工学	臨床工学に必要なシステム理論、信号理論、制御理論の基礎について学習する。1. インパルス応答と伝達関数 2. スペクトル 3. 雑音 4. 相関関数 5. フィードバック	3前	30	2	○			○		○			
32	○		情報処理工学	臨床工学に必要な情報処理工学の基礎について学習する。1. 情報処理工学理論 2. 計算機の原理 3. 計算機のソフトウェア 4. デジタル信号処理	2前	30	2	○			○		○			
33	○		パソコン演習	パソコンソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの操作法を学び、コンピュータを適切に活用する能力及び情報を扱うための能力を演習にて会得する。	1通	60	2	△	○		○		○			
34	○		システム安全工学	システムを構築する機器の信頼性やそれを扱う使用者の信頼性が重要であり、医療事故防止の基本となるヒューマンエラーに対する防止策をSHELLモデルより理解し、対策の立案ができるようになることを目的とする。	3後	15	1	○			○		○			
35	○		医用工学概論	医用工学の歴史と学問領域、医用工学・臨床工学の将来像の医用工学全体について体系的に教授する。	1前	30	1	○			○		○			
36	○		物性工学	工学的な観点から生体の特性について学ぶ。1. 臨床工学と生体物性 2. 生体の構造と特性 3. 電気特性 4. 電気安全 5. 生体の変形と流動 6. 振動や超音波特性	2後	40	2	○			○				○	
37	○		材料工学	生体特性と人工材料について学ぶ。1. 材料工学と生体 2. 臨床工学と材料工学 3. 人工材料の生体適合性 4. 金属材料 5. 高分子材料	3前	40	2	○			○				○	
38	○		計測工学	生体計測装置を理解することを基本とし、各種測定器の原理と測定法や各種生体物理量の計測、生体化学量の計測、画像計測などを学ぶ。	1後	40	2	○			○		○			
39	○		医用機器学概論	医用機器の全体像を把握し、臨床医療における医用機器の役割について学習する。1. 医療機器と関連技術 2. 医用機器の人体への適用 3. 医療機器などの構成と原理	1通	60	2	○			○				○	
40	○		医用治療機器学	医用機器の適切な操作と保守ができるよう、医用治療機器の基本事項を理解する。1. 電氣的治療機器の原理・構造・操作・保守 2. 手術用機器の原理や構造など。	2前	60	2	○			○		○			
41	○		医用治療機器学実習	医用機器の適切な操作と保守ができるよう、医用治療機器の基本事項を実習する。1. 電氣的治療機器の原理・構造・操作・保守 2. 手術用機器の原理や構造など。	2後	30	1			○	○		○	△	○	

42	○		生体計測装置学	生体計測装置の適切な操作と保守ができるようその基本事項について学ぶ。1. 生体計測の基礎 2. 循環器系計測器の構成と原理 3. 呼吸器系計測器の構成と原理	2後	60	2	○			○			○	
43	○		生体計測装置学実習	生体計測装置の適切な操作と保守ができるようその基本事項について実習する。1. 生体計測の基礎 2. 循環器系計測器の構成と原理 3. 呼吸器系計測器の構成と原理	2後	30	1		○	○		○	△	○	
44	○		臨床支援技術学	臨床工学技士は治療業務に携わるが、中でも、心臓カテーテル検査、手術室業務、内視鏡業務は直接機器の操作に当たる。これらの業務について、目的、原理、適応・特徴を学び、さらに、これらを土台とし、有効かつ安全な臨床技術を提供できる知識・技術を習得する。	2後	20	1	○			○		○	○	
45	○		画像診断学	診察や治療に必要な不可欠な医用画像診断について教授する。撮影原理、放射線に関する知識、撮影時の注意点、医用画像から学ぶ解剖と病態の知識を身に付けることを目的とする。	3前	30	1	○			○			○	
46	○		血液浄化療法装置学	腎臓にまつわる解剖生理を理解し、血液透析の原理、治療の実際、トラブル対応、透析機器の構造に関する知識を習得することを目的とする。また、血漿交換をはじめとする特殊な血液浄化について適応疾患、治療に関する知識の習得を目指す。	2前	60	3	○			○		○		
47	○		呼吸療法装置学	生体機能の一つである呼吸機能を代行もしくは補助することは、呼吸器疾患患者の生命を維持するためには必要不可欠であり、その疾患にあった使用機械の設定や保守点検、緊急時トラブルの対策が実施できるようなることを目的とする。	2後	60	3	○			○		○		
48	○		体外循環装置学	心臓の手術を行うには人工心肺が必要不可欠である。この授業を通して人工心肺関連の機器、医療材料、そして手術の侵襲に対する人体の変化を基礎医学から学ぶことにより手術室におけるチーム医療の一員としての知識を身につけてもらう。また、補助循環や人工心臓など最新の医療機器にも触れ、生命維持装置の重要性を理解するよう教授する。	2前	60	3	○			○		○		
49	○		生体機能代行技術学実習	呼吸・循環・代謝に関係ある生体機能代行装置の適切な操作と保守点検ができるように基本的知識と技術について実習を行う。	3前	90	3			○	○		○	○	○
50	○		医用機器安全管理学	医用機器の臨床応用を高い安全性及び信頼性を得て行えるよう、安全管理に関する基礎事項について学習する。	2前	60	3	○			○		○		
51	○		医用機器安全管理学実習	医用機器の臨床応用を高い安全性及び信頼性を得て行えるよう、安全管理に関する基礎事項について実習を行う。	2後	30	1		○	○		○	△	○	
52	○		関係法規	臨床工学技士として必要な法令について学習する。 1. 医事法 2. 臨床工学技士法 3. 関連法規 4. 医療過誤 5. その他	3前	30	2	○			○		○		
53	○		臨床医学総論 I	臨床工学技士業務に必要な臨床医学的知識（内科学）について幅広く学習する。	2前	60	3	○			○		○		
54	○		臨床医学総論 II	臨床工学技士業務に必要な臨床医学的知識（外科学）について幅広く学習する。	3前	60	2	○			○		○		

55	○		臨床医学総論Ⅲ	臨床工学技士業務に必要な臨床医学的知識（救急救命医学）について幅広く学習する。	3後	60	2	○			○			○
56	○		血液浄化療法関連実習	臨床現場での実習を通じて、チーム医療における臨床工学技士の重要性を自覚し、患者への対応や基礎的な知識や技術を身につけることを目的とする。	3後	30	1		○		○			○
57	○		呼吸療法関連実習及び循環器関連実習	臨床現場での実習を通じて、チーム医療における臨床工学技士の重要性を自覚し、患者への対応や基礎的な知識や技術を身につけることを目的とする。	3後	60	2		○		○			○
58	○		治療機器関連実習及び医療機器管理業務実習	臨床現場での実習を通じて、チーム医療における臨床工学技士の重要性を自覚し、患者への対応や基礎的な知識や技術を身につけることを目的とする。	3後	60	2		○		○			○
59	○		その他臨床での実習	臨床現場での実習を通じて、チーム医療における臨床工学技士の重要性を自覚し、患者への対応や基礎的な知識や技術を身につけることを目的とする。	3後	30	1		○		○			○
60	○		臨床実習前後教育	臨床実習にあたり、必要な基本的な礼儀・接遇または基本的な知識・技術（守秘義務や清潔・不潔など）を身につける。 また、臨床実習終了後（医療施設内での実習）に実習に関する発表や実技・筆記試験を行い、学生の学習到達度を判定する。	3後	30	1		○	○				○
61	○		臨床工学特別講義	臨床工学における現状や問題点などについて考える。	3通	120	4	○			○		○	○
62	○		ME2種総合講義	ME2種試験全般の出題傾向を把握し、模擬試験や講義・演習を通じて、解答能力を養うことで、ME2種試験に合格できる学力を身につけることを目的とする。	3通	15	1	○			○		○	○
合計				62科目		2630単位時間			(107単位)					

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業条件：必修科目全て（107単位）を修得すること。 履修方法：「血液浄化療法関連実習」、「呼吸療法関連実習及び循環器関連実習」、「治療機器関連実習及び医療機器管理業務実習」、「その他臨床での実習」「臨床実習前後教育」は5科目全てを修得した場合に単位を与える。（臨床実習）	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	20週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。